



年	04年												05年	
月	7	7	7	8	9	11	12	4	5	7	8	10	11	1
アフリカ全土	<p>新アフリカイニシアテイブ（NAI）マプト首脳会議。</p> <p>モザンビークのシサノ大統領がAU議長に就任。マリのコナレ氏がAU議長に就任。</p> <p>第三回TICAD（東京）。</p> <p>中国アフリカ協力フォーラム第二回閣僚会議（アデイス・アベバ）。</p> <p>ナイジェリアのオバサンジョ大統領がAU議長に就任。</p> <p>フランス語圏諸国会議第一〇回サミット。</p>												アフリカ全土	
西アフリカ	<p>リベリア 包括的和平合意。</p> <p>ギニアビサウ 軍がクーデターにより全権掌握を宣言。</p> <p>コート・ジボワール 国連PKO（UNOCI）派遣。</p>												西アフリカ	
中部アフリカ	<p>サントメ・プリンシペ クーデター未遂発生。</p> <p>チャド 憲法改正により、大統領再選回数制限を撤廃。</p>												中部アフリカ	
東アフリカ	<p>ブルンジ 最大反政府勢力FDDと和平合意署名。</p> <p>ルワンダ 複数立候補による初の大統領選挙でカガメ大統領当選。</p> <p>ソマリア ナイロビにおいて暫定連邦議会発足。</p> <p>ケニア ワンガリ・マタイさん、アフリカ女性初のノーベル平和賞受賞。</p> <p>ソマリア ユスフ暫定大統領選出。</p> <p>スーダン 南北包括的和平合意が成立。</p>												東アフリカ	
南部アフリカ	<p>マダガスカル AU首脳サミットでAU復帰を承認される。</p> <p>コモロ諸島 国内危機打開に関する合意。</p> <p>南ア ムベキ大統領再任。</p> <p>マラウイ ムタリカ大統領当選。</p>												南部アフリカ	

年	06年												
月	1	2	3	3	5	6	7	8	10	11	12	1	2
アフリカ全土	<p>トーゴ エヤデマ大統領死亡。息子ニヤシンベが後継を表明したために政情不安。</p> <p>中央アフリカ 大統領選挙、国民議会選挙を実施。</p> <p>ガボン ボンゴ大統領七選。</p> <p>コンゴ民主共和国 憲法国民投票の実施。</p> <p>コンゴ民主共和国 新憲法公布。</p>												アフリカ全土
西アフリカ	<p>モーリタニア 軍によるクーデター。</p> <p>ギニアビサウ ヴィエイラ大統領就任。</p> <p>リベリア アフリカ初の民選による女性大統領ジョンソン・サーリーフ大統領就任。</p>												西アフリカ
中部アフリカ	<p>中央アフリカ ボジゼ大統領就任、エリー・ドテ内閣組閣。</p> <p>エチオピア 第五回国政選挙。</p> <p>スーダン 統一暫定政府樹立。</p>												中部アフリカ
東アフリカ	<p>ソマリア 暫定連邦政府がナイロビにて樹立。</p> <p>ジンバブエ 政府は「ごみ片付け作戦」と称して不法居住区の住宅や露店の撤去に着手し、七〇万人（国連発表）が住居や生活の糧を失った。</p>												東アフリカ
南部アフリカ	<p>モザンビーク ゲブーザ大統領就任。</p> <p>ナミビア ポハンバ大統領就任。</p> <p>ジンバブエ 00年以降に取用された土地の原則国有化。</p> <p>スワジランド 新憲法採択。</p>												南部アフリカ

年	07年												年	
月	12	9	5	4 5	3	1 2	1	12	10	9	7	5	3	月
アフリカ全土	ガーナのクフォー大統領がAU議長に就任。 フランス 語圏諸国会議第一一回サミット。												アフリカ全土	
西アフリカ	ギニア セネスト状況下でのデモ隊と治安部隊の衝突により二〇〇名以上の死傷者発生。 コート・ジボワール ワガドゥグ合意成立。 モリタニア アブドラーイ大統領就任。 ナイジェリア ヤラドゥア大統領就任 シエラレオネ 与党から野党への移行が平和裡に実現。コロマ大統領就任。												西アフリカ ガンビア チャン軍参謀総長によるクーデター未遂発生。	
中部アフリカ	コンゴ民主共和国 ジョゼフ・カビラ大統領就任。 チャド デビー大統領三選。 サントメ・プリンシペ デ・メネズ大統領再選。												中部アフリカ	
東アフリカ	ブルンジ FNLルワサ派との包括的停戦合意。 スーダン 東部和平合意署名。 ソマリア 暫定連邦政府首都に樹立(エチオピア軍の支援)。 ケニア 大統領選でキバキ大統領再選。野党の集計やり直し要求が発端となつて各地で暴動発生。												東アフリカ スーダン ダルフール和平合意署名(反政府勢力三派中二派は署名拒否)。	
南部アフリカ	マダガスカル ラヴァルマナナ大統領就任(再任)。 ザンビア ムワナワサ大統領再選。 コモロ諸島 アンジュアン自治島の政情悪化。												南部アフリカ	

09年	08年												
4 7	1	12	11	9	9	8 9	8	6	5	4	3	2	
4 7	AU議長にリビアのカダフィー氏選出。 タンザニアのキクウェテ大統領がAU議長に就任。 AU委員長にガボンのジャン・ビン氏就任。 第四回TICAD(横浜)。												
ガーナ 野党ミルズ氏が大統領に。	ブルキナファソ 内閣改選。 ブルキナファソ 内閣改選。 ギニア コンテ大統領の死後、カマラ大尉によるクーデター。												
コンゴ民主共和国 東部での内戦激化。													カメルーン 物価の上昇やビヤ大統領の次期大統領選挙出馬問題等をめぐって、ドゥアラ等で暴動が発生。
スーダン 大統領選挙(予定)。	エチオピア・エリトリア エリトリア・エチオピア国連ミッション(UNMEE)は停戦監視活動を行っていた暫定安全保障地帯からの一時移転を余儀なくされ、両国軍が直接対峙する緊張状態に。 ソマリア 国連安保理決議一八一六でソマリア領内にて外国船舶による海賊捕提を承認。 ソマリア 暫定連邦政府とソマリア再解放連盟が停戦などを定めたジブチ合意に署名。												
南ア 総選挙および大統領選挙(予定)。	ジンバブエ ムガベ大統領が五選。またインフレ率二〇〇万%を超える。 アンゴラ 内戦終了後初の国政選挙。与党MLAが圧倒的勝利。 南ア ムベキ大統領辞任、モトランテ大統領就任。 ザンビア バンダ大統領就任。 南ア アフリカ民族会議(ANC)を抜けたレコタ氏らが新野党の人民会議(COPE)を結成。												

【付表2】 アフリカ基本統計データ

国名	GDP (10億\$)	GDP (%) 年間成長率	1人 当たり GNI (購買力 平価\$)	人口 (千人)	年間 人口 成長率 (%)	国土 (千平方 km)	平均 余命	5歳 以下 の乳 幼児 死 亡率 (千人 当 たり)	G I N I 係 数	成 人 の 識 字 率 (%)	助 額 (\$)	人 口 一 人 当 た り の 援
アンゴラ	58.55	23.4	4,400	17,019	2.8	1,247	42.4	260.0	n.a.	67.4	10	
ベニン	5.43	4.6	1,310	9,025	3	113	56.2	148.0	36.5	34.7	43	
ボツワナ	11.78	3.8	12,420	1,881	1.2	582	49.8	123.8	63	81.2	35	
ブルキナファソ	6.77	4	1,120	14,777	2.9	274	51.9	204.2	39.5	21.8	61	
ブルンジ	0.97	3.6	330	8,496	3.9	28	49.0	181.0	42.4	59.3	51	
カメルーン	20.64	3.3	2,120	18,533	2	475	50.3	148.6	44.6	67.9	93	
カーボ・ヴェルデ	1.43	6.9	2,940	530	2.2	4	71.0	33.6	n.a.	76.6	267	
中央アフリカ	1.71	4.2	740	4,343	1.8	623	44.4	174.8	61.3	48.6	31	
チャド	7.08	0.6	1,280	10,764	2.8	1,284	50.6	209.0	n.a.	25.7	27	
コモロ諸島	0.45	-1	1,150	626	2	2	63.2	68.4	n.a.	56.5	50	
コンゴ民主共和国	8.96	6.5	290	62,399	2.9	2,345	46.1	205.0	n.a.	67.2	34	
コンゴ共和国	7.65	-1.6	2,750	3,767	2.1	342	54.8	126.4	n.a.	83.8	69	
コート・ジボワール	19.57	1.8	1,590	19,268	1.9	322	48.1	127.2	44.6	48.7	13	
*ジブチ	0.97	6	3,800	506	1.9	23	43.3	99.1	n.a.	67.9	143	
赤道ギニア	9.92	12.5	21,230	508	2.4	28	51.1	206.0	n.a.	87	54	
エリトリア	1.20	0.8	520	4,842	3.1	118	57.3	74.2	n.a.	58.6	28	
エチオピア	19.39	11.1	780	79,087	2.5	1,104	52.5	122.8	30	42.7	25	
ガボン	10.65	5.6	13,080	1,330	1.5	268	56.7	91.0	n.a.	63.2	24	
ガンビア	0.64	7	1,140	1,707	2.6	11	59.1	113.4	50.2	40.1	45	
ガーナ	15.25	6.3	1,330	23,462	2	239	59.7	119.9	39.4	57.9	51	
ギニア	4.56	1.5	1,120	9,380	2.1	246	55.5	161.2	38.1	29.5	18	
ギニア・ビサウ	0.36	2.7	470	1,695	2.9	36	46.2	200.1	n.a.	42.4	50	
ケニア	29.51	6.9	1,540	37,531	2.6	580	53.4	120.6	44.5	85.1	26	
レソト	1.60	4.9	1,890	2,006	0.5	30	42.9	131.8	63.2	84.8	36	
リベリア	0.73	9.4	290	3,753	4.8	111	45.3	235.0	n.a.	57.5	75	
マダガスカル	7.33	6.5	920	19,670	2.6	587	59.0	115.4	47.5	68.9	39	
マラウイ	3.55	7.4	750	13,920	2.5	118	47.6	120.2	39	62.7	49	
マリ	6.86	2.8	1,040	12,334	3	1,240	53.8	216.8	40.1	46.6	69	
モーリタニア	2.64	1.9	2,010	3,121	2.5	1,031	63.7	125.0	39	51.2	62	
モーリシャス	6.36	4.7	11,390	1,263	0.7	2	73.2	14.4	39	84.4	15	
モザンビーク	7.75	7	690	21,372	1.9	799	42.5	138.4	47.3	47.8	77	
ナミビア	6.74	5.9	5,120	2,074	1.3	824	52.5	60.6	70.7	85	71	
ニジェール	4.17	3.2	630	14,195	3.3	1,267	56.4	253.2	50.5	28.7	29	
ナイジェリア	165.69	6.3	1,770	147,983	2.2	924	46.8	191.4	43.7	68	79	
ルワンダ	3.32	6	860	9,736	2.8	26	45.6	160.3	46.8	70.4	62	
サントメ・プリンシペ	0.14	6	1,630	158	1.8	1	65.2	95.6	n.a.	84.9	139	
セネガル	11.15	4.8	1,640	12,411	2.8	197	62.8	116.2	41.3	39.3	68	
セイシェル	0.73	6.3	15,450	85	0.5	0.46	72.2	13.1	n.a.	91.8	165	
シエラレオネ	1.67	6.5	660	5,848	1.8	72	42.2	270.0	62.9	35.1	63	
ソマリア	n.a.	n.a.	n.a.	8,696	2.9	638	47.7	145.4	n.a.	37.8	46	
南アフリカ	277.58	4.8	9,560	47,588	0.4	1,219	50.7	69.0	65	84.6	15	
スーダン	47.63	10.2	1,880	38,556	2.2	2506	58.1	88.6	n.a.	61.1	55	
スワジランド	2.94	2.4	4,930	1,145	0.6	17	40.8	163.6	50.4	81.6	30	
タンザニア	16.18	7.1	1,200	40,432	2.4	947	51.9	118.2	34.6	69.4	46	
トーゴ	2.49	2.1	800	6,581	2.6	57	58.2	108.0	n.a.	60.9	12	
ウガンダ	11.21	6.5	920	30,930	3.4	241	50.7	134.2	45.7	66.8	52	
ザンビア	11.36	6	1,220	11,920	1.9	753	41.7	182.0	50.8	80.6	122	
ジンバブエ	n.a.	n.a.	n.a.	13,403	1.3	391	42.7	105.0	50.1	90.7	21	

(出典) World Bank Quick Query 2007 (<http://ddp-ext.worldbank.org/ext/DDPQQ/member.do?method=getMembers&userid=1&queryId=135>) ただし、GINI 係数と成人識字率、およびジブチのデータは CIA World Factbook による。そのためジブチの場合「1 人当たり GNI」は「1 人当たり GDP」、「5 歳以下乳幼児死亡率」は「幼児死亡率」である。

(作成) 河本和美。

『地域研究』刊行にあたって

グローバル化の進む今日、世界の各地は緊密に連関し、また共通の課題に直面しています。その変化や課題が展開されているのは、人々の生きる現場である「地域」。『地域研究』は、地域の総体的理解を目指す地域研究のフォーラム誌として、世界各地を対象とする多様な研究を結び、地域の視点から問題を提起し、「地域から世界を考える」ことを目標に刊行します。

『地域研究』は、編集委員会を地域研究にかかわる全国の研究教育機関、研究プロジェクト、学会、市民組織や国際機関などが参加する「地域研究コンソーシアム」におき、多様な研究対象地域やアプローチをもつ研究者が協力して編集しています。年2回の刊行は、コンソーシアム事務局を担当する京都大学地域研究統合情報センターが担当します。

投稿のご案内

『地域研究』では、特集案および個別論文を公募しています。特集企画案は編集委員会で検討し採否を決定します。個別論文は、査読を経たのち、編集委員会で採否を決定します。公募要領および執筆要項などの詳細は、地域研究コンソーシアムのホームページ (<http://www.jcas.jp>) に掲載しています。また刊行担当 ([journal@cias.kyoto-u.ac.jp](mailto:journal@cias.kyoto-u.ac.jp)) にメールにてご相談いただくこともできます。

地域に立脚した視点から広く「世界」を考える企画・論考を歓迎します。ぜひふるって、ご応募ください。

『地域研究』編集委員会 (2009年3月現在)

- 飯塚正人 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (委員長)
- 家田 修 北海道大学スラブ研究センター
- 白杵 陽 日本女子大学文学部
- 遠藤 貢 東京大学大学院総合文化研究科
- 岡本正明 京都大学東南アジア研究所
- 川島 真 東京大学大学院総合文化研究科
- 村上勇介 京都大学地域研究統合情報センター
- 村田雄二郎 東京大学大学院総合文化研究科
- 山本博之 京都大学地域研究統合情報センター
- 押川文子 京都大学地域研究統合情報センター (刊行担当)

## 編集後記

長い混迷の時期を経て、ようやく〈希望の大陸〉という形容も見られるようになったアフリカ。本号は、このアフリカに焦点をあてて、アフリカ内部の動きとアフリカへの眼差しの両面からその実情に迫る総特集号としました。世界的な金融危機が顕在化したのはちょうど原稿が揃いつつあった時期でした。今後とも、この希望と絶望、機会と貧困が交差する大陸の行方に注目したいと思います。今年度も諸般の事情により年1回の刊行となったことをお詫び申し上げます。(F.O)

## 地域研究 Vol.9 No.1

---

初版発行	2009年3月31日
編 集	地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会
発 行	京都大学地域研究統合情報センター 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 journal@cias.kyoto-u.ac.jp http://www.cias.kyoto-u.ac.jp
制作・発売	株式会社 昭和堂 〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前 電話075-706-8818／FAX 075-706-8878 振替01060-5-9347 http://www.kyoto-gakujutsu.co.jp/showado/

---

印刷 中村印刷

© 地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会 2009

Printed in Japan

ISSN 1349-5038

ISBN978-4-8122-0921-9